



市長との対談は、和やかな中にも  
中学生の目線からふるさとを思う  
提言が出されました

合つて解決策を探ることが大切で  
す。誰かがやってくれると思わ  
ないで、まずは自分から変えるた  
めに何ができるのか、という活動  
をしていただけるといいんじゃない  
かなと思います。

そこで、一番は今住んでいる地  
域で生活ができることが大事。高  
山で収入を得ることができれば住  
み続けられるので、そのためには  
職場や産業、そしてたくさんの人  
に高山を訪れていただきお金を落  
としてもらわなければいけない。  
市としてもバックアップしてい  
きたいと思っています。二つめに収入が  
あつても不便だと住み続けること  
ができません。その不便を解消す  
る必要があります。そして三つめ  
が心の豊かさで、安心感、心のやす  
らぎといった満足感は住み続ける  
のに大切な要素になります。私は  
この三つをできるかぎり実現した  
いと思っています。

## ふるさとに寄せる 私たちの夢・願い

—みなさんから市長に特に頑張  
つて取り組んでいただきたいこと  
をお聞かせください。

**南波** 市内で別に暮らしている  
僕の祖父母は足が悪く、車の運  
転ができません。自分たちでの買  
物や僕たちに会いに来るのも難し

いので、公共交通網が充実すれ  
ばいいなあと思っています。現在  
は不十分なところがあると思うの  
でぜひ取り組んでいただきたい  
です。

**市長** 高齢社会が進むと車を運  
転できない人が増えてきますの  
で、バスやタクシーなどの公共交  
通の担う役割は非常に大切にな  
ります。どういう交通体系がよい  
か現在検討していますので、でき  
るだけ多くの方に便利な交通体  
系にしたいと考えています。

**柴田** 高山市の子どもを代表し  
て、安全安心の高山をつくってほ  
しいと思っています。街路灯の設  
置のほか、不審者から子どもたち  
を守ってください。また、今の高  
山が好きなので、大きいビルやホ  
テルを建てるのは避けてほしい  
と思います。

**市長** 安全安心は心のやすらぎ  
でもあり、一人ひとりの生命を守  
るといふ一番の基本です。安心し  
て通学できる、安心して出歩ける  
まちにするための一つとして、通  
学路の外灯はきちんと整備した  
いと考えています。ただ、行政で  
できることには限界もあるので、  
地域で子どもたちを見守っていく  
社会をつくる必要があります。私  
もできる限り力を入れていきたい  
と考えています。また、建物の高  
さ制限

のほか看板の大きさや色なども  
ルールをつくってきれいなまちに  
なるよう努力していますので、  
気がついたことがあつたら教え  
てください。

**橋本** 僕は今のかたちで高山市  
を残してほしいと思います。生徒  
会活動を通してわかるんですが、  
今のその状態を保とうとすると  
維持することに精いっぱいにな  
つて、新しいものも交えながら  
今の姿を保つていってほしい  
です。また、周辺地域では高校  
で下宿生活をしなければなら  
ないところがあるので、支援す  
る取組みがあるとありがたい  
なと思います。

**市長** やはり、何ごとも守りの  
姿勢では守れないんですね。今日  
より明日がよくなるという攻  
めの姿勢が大事なんです。私も  
今日に満足することなく市役所  
の仕事をやらせてもらいますが、  
みなさんもそういった努力をして  
ほしいと思います。質問にあつた  
地域差はどれだけでも小さく  
したいと考えていますので、  
バス料金や下宿代へ奨学金の  
ような形で助成したり、バス  
路線の本数を増やすなどして  
努力していきたいと思  
っています。

**岩本** 過疎化や少子化でどん  
どん人が減つていってしまう  
ことは



南波 泰成さん



柴田 ゆき乃さん



橋本 峻さん